

# 日本共産党 福島県議会議員 はせべ 長谷部 あつしの通信

## かけはし



2005年7月10日 第44号

事務所 Tel 27-5911 Fax 27-5914 自宅 Tel 29-1845 Fax 29-1846  
日本共産党福島県議員ホームページ <http://www.jcp-fukushima-pref.jp/>



「憲法改憲に反対するいわき市民集会」（6月15日）に参加し「挨拶をさせていただきました。その挨拶に少し加筆しました。」

### 聖議院が改憲反対

私は、九条をもつ日本国憲法は、いまこそ旬、ということをお胸をはってみなさんとともに広げたいと思います。

6月8日、京都の聖護院というお寺が改憲反対決議をあげました。「仏教徒として「不殺生戒」を機軸とし、釈尊の金言「殺すことを認めるな」「恨みを以て恨みに報いるな」を人間生存の大前提として、憲法改憲には反対であり、日本国憲法九条は「世界の多くの国々の信頼の大前提」としています。この決議がいうように、九条は世界の人々の信頼のよりどころ、とい

## いまこそ旬の憲法

う点を見ておくことは大事だと思います。

### 世界が九条に注目

たとえば六年前の一九九九年、オランダでヘーグ世界アヒールという会議が開かれました。世界一〇〇ヶ国、市民団体の八〇〇〇人が集まりました。日本からも四〇〇人の参加があったそうです。「各国議会は、日本国憲法九条のような、政府が戦争をすることを禁止する決議を採択すべきである」、これが五日間の討議のまとめのひとつとされました。

また二〇〇〇年には、国連本部でミレニアム・フォーラムという会議がありました。アナン事務総長の提唱です。世界一三か国、一〇〇〇を超える市民団体、一三五〇人が集まりました。そのひとつの分科会では、「日本の憲法九条に規定されている戦争放棄原則をすべての国々が自国の憲法の中に採用するという提案が取り入れられました。まさに憲法九条は世界に注目され、評価され、信頼され、これを広げるうねりがみえます。これを家元でなくそうなどは、歴史の大きな流れに逆らうことも



はなはだしといわなければなりません。

### 平和な地球世界を

小泉首相の靖国参拝が問題になっています。靖国神社にはA級戦犯が神様として祭られていますが、これに象徴されるように、この神社は、自らの使命を、日本の侵略戦争は正しい戦争だったと、日本国民に吹き込むことだといっています。まさに歴史をねじまげる主張にほかなりません。

靖国にせよ、教科書問題にせよ、侵略戦争を正当化しようとする人々、後押しする人びとが九条をなくそうとするバックにいることも、私たちは見る必要があると思います。

時代錯誤的な考えを孤立させ、世界の人が平和のうちに生きる地球世界を創るため、いまこそ旬の憲法を力強く広げましょう。



「ヤワラちゃん」  
にエール!

ヤワラちゃんこと谷亮子さんにコウノトリがやってきました。現在妊娠3ヶ月との事、おめでどうございます。

ヤワラちゃんは4回のオリンピックに出場し、銀が2回、シドニー・アテネで金メダルを取りました。「最高でも金。最低でも金」と言って言葉通りの結果を出したことは大変素晴らしいことです。そして今回は世界選手権7連覇がかかっていた矢先でしたが、出場を辞退し出産にのぞむそうです。引退はせず、出産後の復帰を表明しています。海外のスポーツ選手では出産のために選手活動を一時止めて、また復帰して活躍するという事例は多くあります。

しかし日本ではスポンサーである企業のイメージを損なうからといって、競技を続けることがなかなかできずに競技そのものを断念するようなこともありました。スポーツを取り巻く環境も一般社会と同様、男性中心の封建的な考えが色濃く残っていました。

そこで「ヤワラちゃん」です。彼女は「ママになって金！」と叫んでいます。

今までの日本の封建的なスポーツ環境を開放し、ジェンダーフリーの社会を実現してくれること間違いなしです。彼女の勇気ある発言と夫である谷佳知選手（オリックス）の支えに最大限のエールを送ります。

何かと暗い話題が多い今日この頃ですが、久しぶりの明るいニュースでした。